

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

38

1 施策の概要

1-1 施策の名称	文化財の保護			基本施策コード	4 1 3
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	生涯学習課	生涯学習課長 野々山泉
1-3 総合計画における施策の体系	節	教育文化「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」			
	項	生涯学習の推進			
1-4 施策の目的	過去の歴史、文化の積み重ねのうえに、100年後も耐え得る豊明市の今を創る。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価		
総合評価		

施策評価の判定基準
 A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
 B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	文化財関係講座の参加者数	200(人)			300(人)			文化財関係講座の参加者数

2 施策推進の状況

2-1 施策全体に係る合計コストの推移(千円)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		直接事業費	5,913								
人件費	977										
合計コスト	6,890										

3 施策の担当課による評価結果

3-1 評価結果	単年度担当課評価	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展 <input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好に進展 <input type="checkbox"/> 良好でない								

3-2 評価の内容	年度	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
		平成18年度	文化財保護のための指導者育成が急務である。	文化財の保護が優先であり、そのために資料の整理等を行う。
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 参考情報

4 - 1 施策を構成する事務事業の評価情報			平成18年度			総合評価
番号	事務事業名称	成果指標と最終目標値(単位)	実績値	担当課 評価	担当課判断優先順位	
1	資料検索システムの整備事業	市史総集編事典に関する資料のうち整備を完了した項目数 1,200(項目)	未実施	-	8	-
2	大狭間湿地保全事業	湿地の調査・観察の回数 20(回/年)	12 (回/年)	A	2	A
3	ナガバノイシモチソウの保護事業	一般公開の見学者数 150(人/日)	131 (人/日)	A	1	A
4	歴史民俗資料室一般公開事業(主要事業)	歴史民俗資料室年間見学者数 700(人)	964(人)	A	4	A
5	指導者の発掘・育成事業	文化財保護委員会、委員研修の開催回数 10(回/年)	7(回/年)	A	5	A
6	歴史関係講座事業(主要事業)	文化財講座の開催日数 20(回/年)	11 (回/年)	A	6	A
7	地域学習の推進事業	文化財講座の開催日数 20(回/年)	11 (回/年)	A	7	A
8	無形民俗文化財の保護事業	無形文化財等の保存伝承を行う団体への補助金額 2,950 (千円)	2,602 (千円)	A	3	A
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						